

データに基づく教育改善

2013.12.21 sat.13:30～17:30

東北大学川内北キャンパス 講義棟A棟A101

Institutional Research

[講演] 13:35～15:25

「データに基づく教学改革をどのように進めるか
～アセスメントの5ステップ～」

愛媛大学 教育・学生支援機構 山田 剛史 准教授

「IRを活用した教育改善へのステップ」

立命館大学 教育開発推進機構 鳥居 朋子 教授

[ワークショップ] 15:35～17:30 ※ワークショップのみ定員40名

「IRのためのリサーチ・クエスチョンの導き方」

立命館大学 教育開発推進機構 川那部 隆司 准教授／鳥居 朋子 教授

各大学が展開する教育・学習活動の「組織」的なマネジメントや改善には、どのような仕組みが必要なのでしょうか。今、現場でその役割を担い、主導できる人材へのニーズが高まっています。そのような人材には組織マネジメント力やリーダーシップが求められますが、それらが有効に機能するには、教育現場で学生が何をどう学び、どんな成果を上げているのかを、関係する情報やデータを用いて可視化していくことがますます必要になっています。つまり、効果的な教育マネジメントには機関調査（Institutional Research）の必要性が高まってきているのです。

本セミナーでは、立命館大学と愛媛大学から講師をお招きし、それぞれの大学における学生調査・学習調査の実施と活用の方法や課題についてお話いただき、参加者との議論を通して、データに基づく教育改善の可能性を探ります。また、後半ではワークショップを開催いたします。先ごろ刊行された、中井・鳥居・藤井編『大学のIR Q&A』（玉川大学出版部）を用いて、IRに係る諸活動の有効性を高めるために必要となる「リサーチ・クエスチョン」をいかに設定し、提示していくのかについてワークを通して考えます。各大学で教育改善に取り組まれている関係者の積極的なご参加をお待ちしています。

【WS参加者へのお願い】『大学のIR Q&A』（中井俊樹・鳥居朋子・藤井都百編，玉川大学出版部 2013年）を持参してください。

参加申込み方法 HPの「イベント申込み」から申込みいただけます。

<http://www.he.tohoku.ac.jp/>

※Web申込み不可の場合は、氏名・所属・連絡先(e-mail)を明記の上、pffp_office@he.tohoku.ac.jpまでお申込みください。

東北大学高等教育開発推進センター
大学教育支援センター
TEL.022-795-4471 Email.pffp_office@he.tohoku.ac.jp



主催 東北大学高等教育開発推進センター
Center for the Advancement of Higher Education
TOHOKU UNIVERSITY